

僕は、天気の良い日に友達と一緒に外で遊ぶと、とても心が気持ちよくなります。

なぜかという、友達と遊んでいたらけんかのことや友達関係のせいで不安に思っていたことや、悲しい気持ちが頭の中からぬえるようになるからです。僕は五・六年生の時に、心のモヤモヤがとってもありました。心のモヤモヤを持っていた時は、一人という風を感じたり、学校を休んだり、だれとも関わりたくないと思っていました。でも友達が声をかけてくれて一緒に遊んでくれました。また自分のモヤモヤを解消してくれました。心のモヤモヤは今は無く毎日楽しい学校生活になっています。一緒に遊んでいて友達が、「とても楽しい」と言ってくれたり、「また一緒に遊ぼう」と言ってくれたりするとこれからももっと遊びたいという気持ちになります。けんかをしていたとしても一緒に遊んでいくうちに仲良くなれます。一人になっている子がいて、その子が悲しい気持ちになったとしても遊びにさそってくれる人がいるとその子が笑顔になりこちらも笑顔になってくるからです。いじめを受けて立ち直れない人も自分を守ってくれる、また一緒に遊んでくれるという友達がいるだけでその子も勇気がもらえると思います。初めは友達がいなくてとても不安になっていたとしても一緒に遊んだりするだけで友達がどんどん増えてたりするだけで不安になったりしている人も不安が無くなると思います。他にも周りに友達がいるだけで不安が無くなっていきます。

さびしさからのストレス、自分との友達づきあいに対するストレスなどで犯罪に手を染めてしまうことがあると思います。こうならないために、たくさん方法があります。まず一人になっている人に手をさしのべる。積極的に人に話そうとして心の中にためておかない。自分から入りに行く。勇気を出して言った子をきよぜつしたり、無視したりしない。周りに気を配る。不安になっている人がいたら、「大丈夫?」「一緒に遊ぼう」などの声をかけてあげる。見て見ぬふりをしない。知らない子でも悲しんでいたら、「大丈夫」、「どうしたの」などの声かけをする。この中でも特に、自分に出来ることは、天気の良い日に友達と外で遊ぶ、一人になる子をつくらないです。

自分が一人じゃないと思えたのをみんなにも思ってもらいたいから「一人じゃない」というタイトルにしました。

みんなが一人じゃないと思える社会になってほしいです。